

# 特別養護老人ホーム晃風園ぬくもり

## 運営推進会議 会議録

■ 日 時：平成30年3月28日（水）、15：00～16：00

■ 場 所：晃風園ぬくもり地域交流室

■ 出欠の状況：運営推進会議構成員（6名出席）

深見大和地区社会福祉協議会顧問

深見大和地区民生委員児童委員協議会委員

島津自治会長

あゆみの会役員

深見大和地域包括支援センター職員

大和市健康福祉部介護保険課事業者指導担当

施設職員（3人）

和田 紀 子（施設長）

和田 成 生（施設長代理）

田 邊 利 保（書記）

■ 運営推進会議の概要

1 会議の開会

- ・施設長あいさつ後、和田施設長代理が議長となり会議を進行。

2 議 題

（1）行事の報告と今後の予定

○和田施設長代理から報告

- ・1月31日に瀬谷養護学校の生徒約30名が来られ、歌やボディーパーカッションでご利用者と交流していかれた。
- ・2月8日に福田神社囃子保存会の方に来ていただき獅子舞を見せていただいた。皆さんは縁起物ということで頭を噛んでいただいて喜ばれていた。
- ・公表制度として、この施設で書類がきちんと揃っているか、研修をしているかなど100近くある項目の調査を2月22日に受けた。長期入所、短期入所と居宅介護支援センターの3事業所で受けた。特に大きな問題なく終了した。
- ・2月26日に主にデイサービスみのにしている踊りのボランティアが、ぬくもりでも踊りを見せてくださった。
- ・今年は地域の方から雛人形一組を寄贈していただき3組となったので、3月の初めに1階2階3階の各階に飾った。飾り付けもボランティアさんが中心となってやっていただいた。
- ・東日本大震災が起きた3月11日に「グラリ3分一斉行動」という訓練を短期入所で行った。地震の時に自分たちが3分の間に何が出来るか考える機会になった。
- ・表玄関にある桜が今年も満開に咲いて、ご利用者に出てもらい見ていただいている。
- ・インフルエンザ等の感染症があって一時期止めていた外出も再開した。
- ・これからの予定として、5月に「おひさまのほっぺ」という保育園の園児と先生が来

られて、ご利用者と交流する予定。

- ・大和市少年消防団約60名がぬくもりの消防設備の見学、車いすの体験とご利用者との交流をするため来園する予定。
- ・4月には避難誘導訓練も実施する予定となっている。

(質問・意見等)

ぬくもりの近くで桜の花見が出来てご利用者さんが楽しめる場所について委員にお聞きしたところ、大和市立病院・大和市役所周辺や大和小学校の名があげられた。

## (2) 施設の近況報告について

○和田施設長代理から報告

- ・前回の運営推進会議以降、5名の方が退所された。理由としては、肺炎が悪化して病院で亡くなられたり、急激に体調を崩して入院された方などで退所されている。
- ・3月は体調を崩される方が多く、長期入所で救急車の要請を3回行っている。1ヶ月に3回というのは過去に例がない。
- ・2月3月で2名の方が新たに入所し、3月31日と4月5日に合計3名の方が入られる。
- ・特養を希望される方自体が減っているという傾向があり、今、特養はだいぶ入りやすい傾向にあるといえる。
- ・31年度に南林間に新しい100床クラスの施設が出来るので、ご利用者の取り合いではないが、厳しい時代がやってくる。

(質問・意見等)

他市の特養ホーム入所申込み受付方法の状況、入所者の要介護の状況、入所申込み者が複数の施設に申し込んでいる実態、感染症対策の取組状況などについて質問・意見あり。

## (3) 平成30年度事業計画

○和田施設長代理から資料を基に報告。

・基本方針として

- ①番、草柳とぬくもりが特養同士で協力、連携して、問題を共有し知恵を出し合って解決していく。
- ②番、やりがい、生きがいを感じられる魅力ある仕事、職場にして行くため、研修や交流の機会を増やしていく。
- ③番、ぬくもりにあるベッドは社会資源であり、満床が当たり前ということを目指していき、収益の安定を図っていく。また、無駄な経費を抑えて収支のバランスを上げていくことが目標の一つとして掲げている。

- ・長期入所は80%の実績となった。短期入所の方も80%の稼働実績になりそうである。
- ・1の業務目標にあるが、平成30年度は95%の稼働にしていきたい。長期、短期どちらも95%で行っていく。この数字を達成できるようにしていきたい。

○和田施設長から報告。

- ・30年度については、社会福祉法人が義務化されている公益的な事業として2つの事業を考えている。
- ・一つはいろいろな施設、団体、地域のさまざまな関係をもとに畑をお借りして農作物を作り、それをもとに農園カフェぬくもりを立ち上げていきたい。4月からスタートし関係者の方達にお集まりいただき、具体的な計画を作成していきたい。
- ・本部で地域の必要性、ニーズについてお話があった中で、5時以降に集まり、お酒やカラオケしたりする入居者の居場所が欲しいという声が出ていた。試行として3月26日に職員と長期のご利用者さんも含め15～6人の方が、法人が用意したノンアルコールのビール、ワインなどを飲んで、カラオケで約2時間過ごし盛況であった。
- ・私達の公的なサービスとして、地域の一つの居場所として捉えながら、本部とぬくもりで推進していきたい。
- ・地域の皆さま方にご理解とご協力をよろしくお願いします。

(質問・意見等)

農園カフェぬくもりの内容、今後の予定について委員から質問あり。

#### (4) その他

○和田施設長代理から報告。

- ・30年度の介護保険の法律改正で、運営推進会議を他の事業所と共同開催してもよいという規制緩和があった。
- ・グループホームと共同出来るか大和市に相談し、出来れば次年度3回共同で開催出来たらと思っている。
- ・法改正で特養施設の利用料に変化があり、保険の単位がプラス改定となった。ご利用者としては少ない方で20円、多い方で60円、1日の負担が増える改定となっている。
- ・今回、介護報酬はプラス改定だが、デイサービスは同じような割合で金額が下がっているため、法人としては少しマイナスになる。

(会議全体を通しての質問・意見等)

農園カフェへの期待、農園作業や農園カフェの運営にあたって地域との連携・協力について、また、川崎市内の老人ホームで発生した転落死事件の裁判記事に関して、ご利用者の対応についての職員研修について意見交換が行われた。

### 3 閉 会

次回会議の日程の確認と出席をお願いして閉会。